

令和8年度 新潟県立小出特別支援学校グランドデザイン

- ・ 学習指導要領
- ・ 新潟県教育振興基本計画
- ・ R8 学校教育の重点

目指す学校の姿

心ゆたかに生きる子どもが育つ学校

自然ゆたかな魚沼の地



教育目標

じょうぶな子（健康） 自分のことができる子（自立） なかよくできる子（社会性） がんばる子（意欲）

各学部の目標

小学部	中学部	高等部
学習や身近な生活の基礎を築くと共に、ものや人と関わる力を身に付ける。	生活自立の向上と社会生活経験の拡大を図ると共に、社会参加の基礎となる力を身に付ける。	卒業後の生活に必要な能力を高め、社会の一員として生活する実践的な態度を身に付ける。

5つの重点目標

1 ひとりひとりを丁寧に見取り、大切に育てる ○ひとりひとりの「豊かな社会参加と自立を見据えた教育の推進」 ○ひとりひとりの人権を尊重し心に寄り添う支援の充実 ○特性を理解し教育的ニーズを的確に捉えた指導の実践	2 子どもや保護者にとっての安全・安心な場をつくる ○生命の尊重を第一とした各種感染症、自然災害対策、緊急対応策の徹底 ○医療的ケア、保健・性・食の指導、食物アレルギー対策の実施と点検 ○生徒指導上の問題の未然防止と早期発見・早期対応	3 子どもが意欲的・創造的に学ぶ環境をつくる ○実生活に生きる「確かな知識」の習得を目指す授業づくり ○日常的で効果的なICT教育の推進 ○多様な関わりの中で学び合う場、子どもたちにとって意味のある出会いの設定	4 保護者・関係機関・地域と信頼に基づいた連携をつくる ○保護者・魚沼学園との情報共有と連携による支援の充実 ○行政・福祉・医療等関係機関との連携による支援の充実 ○地域の特別支援教育の充実に向けたセンター的機能の着実な取組 ○教育活動の積極的な発信と地域との関わり推進	5 地域の中でゆたかに生きる力を身に付けるキャリア教育を推進する ○学級や学校、地域等に貢献する学習活動を通じた、人の役に立つ経験の積み重ねと、役に立ちたいという意欲の醸成 ○小学部、中学部、高等部へと、ライフステージに応じた系統的な学びと経験の場の設定
---	---	---	--	--

保護者

魚沼学園

目指す
教職員の
姿

- 様々な職域の教職員が、子どもたちの成長のために、自分の良さを互いに発揮し合う。
- 子どもたちの良さをたくさん見付け、たくさん褒め、みんなで共有して喜びを分かち合う。
- 時代の変化に合わせて、常に学び続ける。
- 心身共に健康でワークライフバランスのとれた、メリハリのある働き方をする。

地域

関係機関